



大きく育て、ふる里の森
(県民協働の森事業・山河内大越)

(撮影：秋山久雄氏)

美波町 議会 公報

就任のご挨拶・委員会構成	2
平成26年度 一般会計当初予算	3
総務産業建設常任委員会概要	4
文教厚生常任委員会概要・議長の活動	5
議員の賛否	6
請願結果・議員の出欠	7
一般質問	8
美波町議会議員の自己紹介・抱負	14
臨時会の概要・議員の賛否	16
住民からのひと言・募集	17
頑張る人!!・編集後記	18

第32号

平成26年3月定例会
平成26年第1回臨時会
平成26年第2回臨時会



議長・副議長就任のご挨拶



議長 岩瀬 公

このたびは臨時議会において、美波町議長職の大役をお受けすることになりました。

私にとりましては、誠に光栄でありますと共にその責務の重大さを痛感しているところであります。

町民の皆様方の負託を受けた議会として、安全で安心して暮らせるまちづくりを考え、住んでよかったと実感できるまちづくりに向け、その責務に邁進する所存でございます。

今後とも、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



副議長 向山 篤 宏

この度、副議長の要職を担うことになりましたが、その責任の重さに身が引き締まる思いでいっぱいです。

新しい町が発足してから8年が経過し、2年後には美波病院、町医療保健センターが完成の運びとなり、これからの数年は美波町が大きく変動する重要な時期です。

町民のみならずと共によりよい町づくりのために一層の努力をする所存でありますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

◆ 委員会構成 ◆

委 員 会		委 員 名 (順不同)
常任委員会	総務産業建設委員会	◎川尻 竹藏 ○永本善次郎 ・丸龍 孝敏 ・舩田 邦人 ・松本 晋児 ・向山 篤宏
	文教厚生委員会	◎北山 朝彦 ○戎野 博 ・岩瀬 公 ・江本 昇 ・寺下 博子 ・中川 尚毅
	議会運営委員会	◎丸龍 孝敏 ○寺下 博子 ・戎野 博 ・江本 昇 ・松本 晋児 ・向山 篤宏
特別委員会	議会広報特別委員会	◎北山 朝彦 ○永本善次郎 ・戎野 博 ・中川 尚毅
	テレビ中継特別委員会	◎戎野 博 ○舩田 邦人 ・寺下 博子 ・永本善次郎 ・松本 晋児 ・向山 篤宏
	海部郡特別養護老人ホーム事務組合議員	・岩瀬 公
	海部郡老人ホーム町村組合議員	・岩瀬 公
	海部郡衛生処理事務組合議員	・岩瀬 公
	海部消防組合議会議員	・岩瀬 公
	美波町国民健康保険運営協議会委員	・岩瀬 公 ・北山 朝彦 ・戎野 博
	議会選出監査委員	・寺下 博子

◎：委員長 ○：副委員長

平成 26 年度 一般会計当初予算

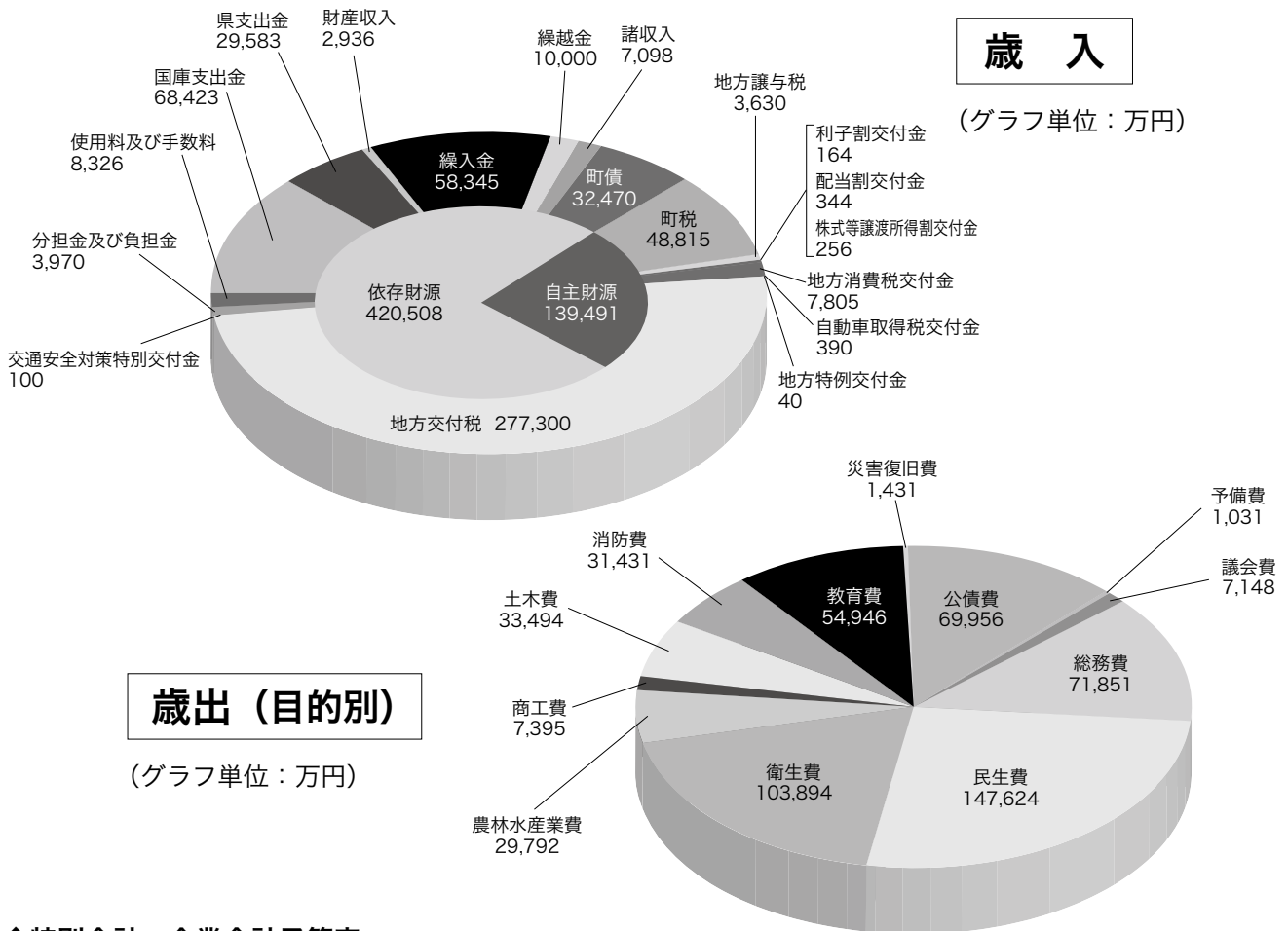
総額 56 億円に決まる !!

平成 26 年度一般会計予算は、前年度より 9 億 8800 万円、21.4%の増となっています。

町税等の自主財源が 13 億 9491 万円で 24.9%。

地方交付税等の依存財源が 42 億 508 万円で 75.1% となっています。

町の借入となる町債は 3 億 2470 万円です。



◆特別会計・企業会計予算表

特別・企業会計		当初予算額	前年度当初予算額
特別会計	国民健康保険事業	11 億 4385 万円	12 億 3087 万円
	住宅改良資金貸付	13 万円	74 万円
	育英奨学金貸付事業	2112 万円	2436 万円
	赤河内財産区	941 万円	941 万円
	簡易水道事業	1 億 5107 万円	7249 万円
	漁業集落排水事業	2240 万円	2034 万円
	公共下水道事業	1 億 5641 万円	1 億 3564 万円
	介護保険事業	12 億 2943 万円	12 億 3517 万円
	国民健康保険阿部診療所	3607 万円	3894 万円
	後期高齢者医療	1 億 4778 万円	1 億 3116 万円
企業会計	水道事業	9131 万円	9485 万円
	病院事業	16 億 8884 万円	10 億 172 万円
合計		46 億 8754 万円	39 億 9570 万円

総務産業建設常任委員会概要

平成26年度美波町一般会計の総務産業建設常任委員会に付託された所管事業の予算等について、12日に審議しました。

◆報告第1号

株式会社社道の駅 日和佐事業報告

●質問

販売とか店舗の運営について、新しい発想は無いのか

●森本道の駅駅長

海藻類で売り上げアップを図るため、町内の海藻類を道の駅で一括して袋詰め販売を計画している。

◆議案第5号

町道路線の認定について

●質問

櫛ヶ谷風5号線の所有権移管はいつ完了するのか

●鈴木建設課長

3月中に出来ると考えている。

◆議案第14号

美波町支所及び出張所設置条例の一部改正

●質問

今回の改正で、本庁に行かなくても全て支所対応できるのか

●影治町長

今まで支所で出来なかったことが出来るようにはならないが、現在のサービスを落とすことの無いように努める。

◆議案第15号

木岐聖ヶ丘農林漁業体験施設の設定及び管理条例

●質問

利用料及び各種の許可等についてはどのようなになっているのか

●小坂産業振興課長

管理運営する団体との調整の中で決まっていく。

◆議案第23号

美波町一般会計予算

●質問

有害鳥獣肉の有効活用で、残渣処理の対応は

●小坂産業振興課長

残渣対策については、新年度中にまとめ運用して行こうと考えている。

●質問

小規模事業者企業支援補助金(200万円)の小規模とは

●小坂産業振興課長

小規模事業所とは、商業やサービス業で10人以下、製造業で23人以下を想定している。

●質問

美波町鳥獣侵入防止柵設置事業補助金要綱の内容は

●小坂産業振興課長

要綱の細かいところまでは決まっていない。

●質問

ウォーターバルーンについて、訓練等どのように考えているのか

●橋本消防防災課長

避難所整備が出来ていないので、日和佐病院横の防災倉庫に6個入れられているが、避難場所が決定しだい配備をしていく。



木岐聖ヶ丘農林漁業体験施設



コンパクトな折りたたみ式で収納スペースをとらない車載式ウォーターバルーンと給水架台。給水専用車や給水タンクのスペースが不要な組合せです。

車載式ウォーターバルーンと給水架台
(給水管サイズ:φ50×1570mm/ジャロX6個)

ウォーターバルーン

●質問

病院搬送業務について、早急に検討委員会を設置し検討すると言っていたが現状はどう

●山路副町長

昨年、搬送班のあり方検討委員会を設置し、一度だけ現状分析を行ったが、さらに細か

く分析し検討しなければと言ったことになった。

●質問

地域おこし協力隊は何人予定し、どこに配置するか

●磯野総務企画課長

例年は3人程度の受入れだったが、今回6団体から希望調書の申し込みがあったので、5団体が受け入れ出来る予算措置をした。

文教厚生常任委員会概要

平成26年度美波町一般会計の文教厚生常任委員会に付託された所管事業の予算等について、13日に審議しました。

◆議案第16号

美波町社会教育委員条例の一部を改正する条例の制定について

質問

委員構成は

●鶴木社会教育課長

学識経験者2人、文化協会1人、体育協会1人、青少年健全育成協議会1人、人権教育協議会1人、町内会連合会1人、幼稚園長・学校長から3人、PTA関係者2人計12人に教育委員会が委託している。

◆議案第24号

美波町健康保険事業特別会計予算

質問

第2号被保険者の支払う

税率は今後上がるのか

●花木保健福祉課長

事業の運営は厳しい状況にあるので今後は税率を検討する必要がある。

◆議案第35号

美波町病院会計予算

質問

入院収益は、特別交付税の算入分を含めたものか

●木本由岐病院事務長

この額を目標に診察・診療を行っていくので、算入していない。

質問

本年度（平成25年度）の入院患者数は見込み通りか

●木本由岐病院事務長

補正で減じているが、その数値も達成が厳しい状況である。

質問

町立美波病院開設に向けて職員の意識向上等のための研修は

●木本由岐病院事務長

そのための研修費用は組んでいないが、必要になる研修費用は確保できる。

質問

町立美波病院の医療機器整備費2300万円の内容は

●磯野総務企画課長

医療機器の選定業務の経費である。

本会議の討論結果

◆議案第10号

平成25年度美波町病院事業会計補正予算

●討論

実際の入院収益が減少していないのに、異質の交付税を算入するため入院収益を減額するのは納得行かないので反対する。

（賛成11・反対1）

◆議案第23号

平成26年度美波町一般会計予算

●討論

町民の負担軽減を図るため、消費税の増税による給食費等の値上げには反対する。

（賛成11・反対1）

◆議案第35号

平成26年度美波町病院事業会計予算

●討論

入院収益について、病院事務長から「達成できない」との発言があり、この予算は過大見積もりであることが明らか。よって予算を過大計上するのは、地方自治法第2条（最小の経費で、最大の効果を挙げる）に反しているので反対する。

（賛成10・反対2）



議長の主な活動状況

（平成25年12月定例会後から平成26年3月定例会まで）

◆12月20日

阿南市地域医療確立対策協議会（設立総会）

◆1月23日

国保運営協議会（議長、文教厚生委員会正副委員長）

◆2月12日

市町村トップセミナー（副議長）

◆2月26日

海部郡一部事務組合総会

◆2月28日

徳島県町村議会第65回定期総会

◆ 各議員の賛否（議案採決結果） ◆

議長…◎ 賛成…○ 反対…× 欠席…欠

報告・議案・発議	議 員 名														結 果
	中川尚毅	江本昇	影山美雄	川尻竹藏	永本善次郎	丸龍孝敏	北山朝彦	向山篤宏	岩瀬公	◎坂口進	寺下博子	新開悦博	舛田邦人	松本晋児	
第1号 道の駅日和佐の事業報告	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	承認
第2号 専決処分（契約）の報告	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	承認
第4号 衛生処理組合規約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	可決
第5号 町道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	可決
第6号 魚介類蓄養施設の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	可決
第7号 水産物処理加工施設の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	可決
第8号 アワビ中間育成施設の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	可決
第9号 交流拠点施設の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	可決
第10号 小イザリ地域振興センターの指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	可決
第11号 地域資源活用総合交流促進施設の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	可決
第12号 青少年旅行村キャンプ場の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	可決
第13号 消費税率の引上げに伴う条例の制定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	可決
第14号 支所・出張所の改正条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	可決
第15号 木岐聖ヶ丘農林漁業体験施設の条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	可決
第16号 社会教育委員の改正条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	可決
第17号 下水道条例の改正条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	可決
第18号 防災行政無線システム変更請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	可決
第19号 一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	可決
第20号 公共下水道事業補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	可決
第21号 介護保険事業補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	可決
第22号 病院事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—	○	○	○	○	可決
第23号 一般会計予算	×	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	可決
第24号 国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	可決
第25号 住宅改良資金貸付特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	可決
第26号 育英奨学金貸付事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	可決
第27号 赤河内財産区特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	可決
第28号 簡易水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	可決
第29号 漁業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	可決
第30号 公共下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	可決
第31号 介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	可決
第32号 国民健康保険阿部診療所特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	可決
第33号 後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	可決
第34号 水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	可決
第35号 病院事業会計予算	×	○	○	○	○	○	×	○	○	—	○	○	○	○	可決
第1号 委員会条例の改正条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	可決

※議長は賛否の意思表示をすることが出来ません。採決の結果、可否同数となった場合は議長が採決権を行使します。（過半数議決の場合）

年金 2.5%引き下げの中止を 求める請願『不採択』!

◆請願第2号 年金 2.5%引き下げの中止を求める請願

●委員会報告

平成26年2月20日に委員会を開催し、年金額2.5%の削減は、過去に物価スライド制により年金額を減額すべきところを減額しなかつたものを是正するもので、年金の削減を中止すれば掛金など、他に及ぼす影響が考えられる。また、低所得高齢者への年金生活者支援給付金制度も施行予定であることから不採択と決定した。

●本議会での討論

減額を実行した後、マクロ経済スライド制に移行すると毎年減額されるようになり、年金生活者は生活できなくなる。政府に意見を言うという立場から請願は出してほしいので賛成する。

●採決結果

不採択と決定

(賛成1…反対12)

倫理条例の修正を求める請願『一部採択』!

◆請願第3号 美波町議会政治倫理条例の修正を求める請願

●委員会報告

平成26年2月4日、2月27日、3月4日、3月10日の4回委員会を開催し議会議員政治倫理条例の修正請願を協議した結果、条例中の「認める議員」を「疑われる議員」に改め住民からの審査請求権を加えることになった。

尚、請求者の人数は今後検討することとなり請願は一部採択となった。

●本議会での討論

請願の趣旨の実現のため、委員会に付託される原則が住民の立場から少し逸脱している委員会運営が見られる。よって、請願者の意思を聞かず請願の趣旨が反映されなかつた委員会の決定には反対する。

●採決結果

一部採択に決定

(賛成10…反対3)

◆各議員の出欠状況 (平成25年12月定例会～平成26年3月定例会)◆

出席…○ 欠席…× 委員外出席…△ 委員外…ー

日付・会議等	議 員 名														
	中川 尚毅	江本 昇	影山 美雄	川尻 竹藏	永本善次郎	丸龍 孝敏	北山 朝彦	向山 篤宏	岩瀬 公	坂口 進	寺下 博子	新開 悦博	舛田 邦人	松本 晋児	
1月10日	文教厚生委員会	△	ー	○	△	△	○	○	○	△	×	○	○	ー	ー
1月10日	議会広報特別委員会	○	ー	ー	ー	○	ー	○	○	ー	ー	ー	○	ー	ー
21日	議会広報特別委員会	○	ー	ー	ー	○	ー	○	○	ー	ー	ー	○	ー	ー
16日	議会広報特別委員会	○	ー	ー	ー	○	ー	○	○	ー	ー	ー	○	ー	ー
2月 4日	平成26年第1回臨時議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27日	議会運営委員会	△	○	△	△	△	○	○	○	△	△	○	○	○	△

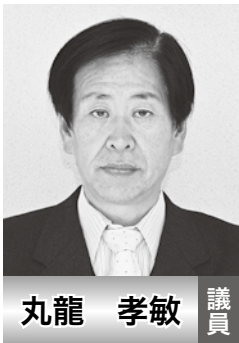
※ここでは本会議、委員会、議会の議決による派遣、その他議長が参加・出席を要請した活動のみ掲載しています。

一般質問

一般質問では、防災問題・教育問題・福祉問題・議会のテレビ中継など、町政の課題について7人の議員が執行部の考えを質しました。

1 桜町周辺の避難タワーは

答 弁
適地があれば建設する



議員 丸龍 孝敏

●橋本消防防災課長
現在整備中を含め、避難場所の検討を行い、きめ細やかな避難場所の整備を進めたい。高台移転用地造成構想、防災公園用地など多目的に利用可能な高台造成を市街地周辺でおこなって

質 問
厄除け橋より南側(桜町・弁財天・櫛ヶ谷・ひばりヶ丘・寺込・奥潟)の津波避難タワーの建設予定はあるのか。また南海トラフ巨大地震の津波襲来に備え、防災公園・公共施設移転用地・住宅移転用地等について町長の考えは。



行く予定。構想と照らし合わせながら進めたい。

●影治町長

議会に説明し、構想を計画作りへと進化させたい。

質 問

土地開発公社で先に土地を構えては。

●影治町長

今後検討し、事業が円滑に進んで行くような最善の策をとっていききたい。避難タワーについては適地があれば建設をしていきたい。

2 予防接種助成の拡大を

答 弁
現在考えていない

質 問

インフルエンザ予防接種について、乳幼児6ヶ月から中学生以下の子ども達に予防接種の助成をしてはどうか。

●花木保健福祉課長

インフルエンザ予防接種の助成は現在のところ考えていないが、感染予防の啓発を進めたい。



日和佐浦地区津波避難タワー

①土曜授業の復活をどう考えるのか

答 弁

平成26年度は実施しない、以後は検討する



議員 影山 美雄

質 問

土曜授業、学校週5日制の完全実施から10年以上が経過し、文部科学省はこれを見直すべく6日制の復活を検討している。当時子ども達を学校に任せきりにすべきでないという意見が強く、「子ども達を学校から家庭・地域にかえす」と盛んに言われた。昨年11月の省令改正により、市町村教育委員会が必要性を認める場合は、土曜日でも授業を行われるようになった。教育長はどのように受け止めるか。どのような方針をもっているか。

●寺内教育長

定例教育委員会において検討した。委員からは、中学生においては土曜日はほとんどの生徒が部活動をしており、対応ができる。しかし、小学校はスポーツ少年団などの活動をしている児童とそうでない児童がいることや、地域や各種団体の大会や行事が組み込まれていることなどから対応は難しいのではないかと。また教職員の勤務形態などの問題も考えられる。などの意見があり、平成26年度は実施しない。27年度以降については、国や県の動向を見ながら検討する。

②学力テストの学校別成績公表は

答 弁

公表はしない

質 問

文部科学省は、小学校6年生と中学校3年生を対象にした全国学力テストの実施要領を変更し、これまで禁じてきた市町村教育委員会による学校別の成績公表を今年の4月から認めると発表した。公表は、市町村教育委員会が判断し、具体的な公表方法は各教育委員会に任されている。これらについて県内でも賛否が分かれているが、教育長はどのように考えているのか。

●寺内教育長

平成26年度の調査にお

ける結果の公表はおこなわない。町内校長は、全員が公表に反対し、理由は調査結果は学力の一部だけだから、学校規模によっては個人が特定されるから、結果によっては児童生徒が必要以上に自信を喪失するおそれがあるからなどがある。教育委員会は、校長の意見を考慮すると共に、文部科学省の示した目的や教育施策の成果と課題を検証し、学力テストを教育指導の充実や学習状況の改善に役立てるが、公表については必要でないと考えている。

質 問

子どもが読書習慣を身につける上で重要な役割を担う学校図書館に、読書と学習のサポートする専任の学校司書を配置する自治体が全国的に増えている。町内の学校の図書室の利用状況や読書指導の現状はどうか、また学校司書の配置は考えていないのか。

●寺内教育長

開放時間は、各校まちまちである。利用時間は昼休み・業間の利用が多い。25年度の貸し出し状況の一例では、小学校で1,332冊、中学校で597冊という状況である。また、ボランティアによる読み聞かせもある。学校司書の配置の方向性については、児童・生徒による委員会活動と司書教諭により対応できていると考えている。



答 弁

委員会活動と司書教諭により対応できていると考える

③学校司書の配置は



1 避難路の増設を

答 弁
住民の理解を得て、都市計画に基づき取り組む



議員
松本 晋児

質問

奥河内本村・日和佐浦の避難場所については、複数整備されているが、避難路が未整備であり、あわせ（路地）が多く、地震発生時にブロック塀や古い家などが倒壊することが予測される。安全を確保するため避難路を2〜3路線増設する必要があると思うが、どのように考えているのか。

●鈴木建設課長

役場周辺は、長い路地や倒壊が心配される家屋・ブロック塀・石塀などがあり、この地区は著しく危険な重点密集市街地に指定されて

を解体してオープンスペースの確保を図り、都市計画マスタープランに基づいて取り組む。

質問

都市計画プランで取り組むとのことだが数年かかると思うので、町長の意気込みを聞きたい。

●影治町長

実現可能な都市計画を決定した。立ち退き・移転先等の理解や高齢者の不安も考慮し、避難路整備に努める。

1 地震対策、若者の定住促進のための高台における宅地開発の検討状況は

答 弁
防災公園、公共施設等の移転用地など多目的に利用することが可能な用地を確保したい



議員
向山 篤宏

質問

昨年6月の定例会における津波対策や若者の定住促

進のための高台における宅地開発について的一般質問に、町長は津波被害の復興計画と併せて総合的な観点から検討していくと答えたが、その検討状況を伺いたい。

●影治町長

昨年から、国・県の指導を頂きながら高台用地造成構想づくりを進めてきた。構想の内容としては、将来を展望し南海トラフ地震に備えるため、防災公園・公共施設等の移転用地など多目的に利用することが可能な用地を確保したい。場所は道の駅日和佐の西の山林を予定しており、早い機会に、調査費を予算化し、計画は市内のワーキンググループで検討していきたい。



道の駅日和佐西の山林

① 使用料はどのようになる

答 弁
11万円あまりの増収



議員
中川 尚毅

質 問

消費増税に伴う条例改正で町施設使用料の増収がどれくらい見込めるのか。

に基づいて8%にした場合は、由岐ふれあいホール、日和佐・由岐公民館、基幹集落センター、老人福祉センター、総合体育館、テニスコート、コミュニティセンターの全体で11万円余りとなる。

病院・下水道・水道などは、課税事業者として消費税の申告を行っているので町の収入にはならない。伊座利生活改善センター・西の地コミュニティセンターは指定管理施設で町の収入はない。

●磯野総務企画課長

消費税及び地方消費税の税率引き上げに伴う町施設使用料の増収見込みは、使用料の総収入額前年度実績

② 生活保護基準の改定による影響は

答 弁
平成25年度は影響ないが、今後は分からない

質 問

① 生活保護基準の改定によって、直接影響を受け

る国・町単独事業にはどんな制度があるか。

② 平成25年度と26年度、2回の引き下げをそのまま

行った場合、それぞれの影響を受ける利用世帯数や人数を聞きたい。

③ 町単独事業の制度においてはその影響に対しどのような対応策を予定しているか。

●岩瀬住民生活課長

① 国は生活保護費のうち食費や光熱水費に充てる生活扶助の基準額を平成25年8月から3段階で引き下げを行う。平成25年度については影響はない。平成26年度以降は、具体的な状況は分からない。国は出来る限り影響が及ばないようにするとしているので、国の動向を見ながら対応したい。

② 基準引き下げをそのまま連動させた場合、それぞれの制度ごとに影響を受ける利用世帯数と人数については、今の段階では具体的にはいえない。

③ 町単独事業における対応策については明らかにする状況ではない。

●山路副町長

生活保護費を受けるための要件には変更はないが、受給者の住んでいる地域・世帯の人数・年齢などの要件で生活保護費の受給額が変動する。個人住民税の非課税限度額の決定に影響を

与えるが、国の税制改正において対応されるので、現時点でどうなるか言えない町としては、影響がでないことを期待して、今後の国・県の動向を注視しながら適切に対応したい。

③ 高台への移設を検討しているか

答 弁
適地があれば計画を進める

質 問

日和佐地区も由岐地区も海岸部では避難困難者の高台移転を望む声が出ている。高台への移設などを検討している施設はあるのか。

とりあえず日和佐地区の市街地周辺で行っていく予定。また、他の地域についても、適地があれば今後計画を進める。

●橋本消防防災課長

町長提案理由の説明で触れた高台移転用地造成構想づくりの中で、避難所を兼ねた防災公園用地・公共施設の移転用地・移住定住促進用地・津波浸水区域外への住宅移転用地など、多目的に利用可能な高台造成を



① 一次産業再生を目指し、美波町第2次総合計画・産業関連施策懇談会において具体的実効がある施策を求める

答 弁
総合計画は全体的で包括的なものだから具
体性はない。懇談会は議員のいうように具
体的施策を打ち出せるように進めている



議員
北山 朝彦

質 問

- 産業懇談会に大きな期待を寄せているので質問する。
- ① 産業施策懇談会の発足状況を説明されたい。
- ② 産業施策懇談会の施策と美波町第2次総合計画との産業振興施策の調整はどうするのか。
- ③ 第2次総合計画は、真剣に町政に取り組む者の言葉とは思えない。誰が書いたものなのか。

- 小坂産業振興課長
- ① 産業課は行事・イベント

に追われ、施策づくりや検討のできる状況ではなかった。また商工会・観光協会・漁業振興会・森林組合・農協などに産業振興事業を共に取り組む土台があるとは思えず、参加を呼びかけるメンバーについても悩ましいものがあり、一気に協議会的な組織でなく、町長を座長に情報課題の共有、相互理解から入る懇談会としてスタートした。月1回開催のつもりが、2カ月に1回のペースである。

② 懇談会は特別の施策を急いで検討し、懇談会主体で直ちに実行するようなことは想定していない。総合計画は実施主体や担い手を特定した個別事業

の計画書でなく包括的で抽象的なものなので、調整するようなことは起こらないと考えている。
③ 必要であれば所管課長が策定の経過等答弁するが、項目によって積極的言葉と慎重な言葉の部分に分かれてはいるが、それは現状と課題に対する行政の姿勢の表れであると考えている。

● 磯野総務企画課長

③ 総合計画は、株式会社ぎょうせいに委託、事務局と協議して資料収集、アンケート調査、ワークショップ、ヒヤリングなど実施して原案作成、各課の意見や審議会の意見を踏まえ、事務局でとりまとめたものである。

質 問

12月の一般質問で町長は「問題点の現状と課題を掘下げ、打つ手や施策を考えると答えている。今の課長の答弁は町長の答弁とかなりへだたりがある。「施

策」とは辞書に「公的機関が行う方針」とある。「総合計画」も「懇談会」も具体的方針を書くべきである。例えば「ミシマサイコの試験栽培を進め産地化を目指す」とか、「クエの陸上養殖・放流」についても結果が出せていないが、こうした具体的施策を積み重ねていくべきである。町の考えは。

● 影治町長

町としては、総合計画自



由岐伊勢エビまつり

質 問

体は全部を網羅する計画とされているので理解されたい。
総合計画は全部を網羅するから大まかなものでよいとのことだが、私はそうは思わない。今までの実績を踏まえよく検証した上で、新たに具体的施策を提示していくことであると考える。しかし総合計画がこのようなものだとするならば、懇談会だけでも掘下げてちゃんとした施策を出す会にならない。せつかく画期的な取り組みを始めたのだから実行・結果を期待している。再度町長の考えは。

● 影治町長

懇談会は、議員が言われたとおりの目的、そして目標でやっている。



日和佐保育園・幼稚園（浸水予測4m）

日和佐保育園・幼稚園の
移転先用地の決定を平成25
年度中に行うと表明してい

質問



永本善次郎 議員

答 弁

サンクス西側の山林を考えている

① 日和佐保育園・幼稚園の移転先は

だが、結果を聞きたい。

● 影治町長

提案理由説明で示したサ
ンクス西側の山林を高台移
転の総合用地造成構想の中
で日和佐幼保施設移転先の
候補地のひとつとした。山
河内地区からの招致の要
望についても候補地のひとつとして今後検討したい。

答 弁

高額のため、現在は実施していない

② 議会のテレビ中継ができないか

質問

本町議会の審議の状況を
テレビ中継して欲しいとい
う強い要望があるが、どの
ように考えるか。もしこの
事業を実施するとすれば経
費はどのくらい要するか聞
きたい。

● 磯野総務企画課長

議会中継システムは現在
インターネットにより配信
している。テレビ中継を実
施する場合、初期費用で4
000万円ぐらい、ランニ
ングコストが年間600万
円ぐらい必要となり高額の
ため現在は実施していない。
高齢化の進行等でテレビ中
継の要望が高まっているの
も事実である。現在は、議
会だより・広報みなみ・町
のホームページ・回覧など
で議会情報を発信している。

質問

山河内地域で飲料水の不
足・水質が悪い等の理由で
簡易水道の開設を強く求め
る声がある。どのように対
処するか聞きたい。

答 弁

小規模水利事業等に対応する

③ 山河内に簡易水道を



那賀町テレビ中継システムの視察（H.21）

● 影治町長

山河内地区で簡易水道の
開設は諸条件から難しいと
思うが、地区住民の水の悩
みは十分承知しているので、
小規模水利事業等場所に適
した方法で水道未普及地域
の解消をはかりたい。

12人の自己紹介・抱負

私は、町民の皆様にお約束した「5つの目標」

- ① 対話の場を有効適切にし回数を増やす
- ② 防災計画の見直しと、訓練の徹底
- ③ 結果検証を必ず行う役場職員
- ④ 産業施策懇談会の成果を挙げる
- ⑤ 行政・議会の情報配信システムの完成

の実現に向け努力していきます。



北山 朝彦 議員

◆議席番号：4番
◆常任委員会：
文教厚生委員会

○妻・母・長男夫婦・孫の6人家族

【趣味】

- ・パソコンで絵を描くこと
- ・釣り(グレ・石鯛など)
- ・車やバイクの運転(国内A級ライセンス所持)
- ・ブログやフェイスブックで色々な出来事を発信しています。

・昔やっていたサーフィンを去年から復活した。



舛田 邦人 議員

◆議席番号：1番
◆常任委員会：
総務産業建設委員会

この度、町民の皆様方の温かい御支援を頂き、議会議員に当選させていただきました。住民の皆様が安全で安心して暮らせる町づくりを目指し、誠意を持って努力致す所存でございます。

今後共どうかよろしく、御指導、御協力の程お願い申し上げます。



川尻 竹藏 議員

◆議席番号：5番
◆常任委員会：
総務産業建設委員会

住んでよかったですと実感できる街づくりに向け努力していきたいと思っております。今後とも、ご支援、ご協力よろしくお願いいたします。



岩瀬 公 議員

◆議席番号：2番
◆常任委員会：
文教厚生委員会

この度、美波町議員選挙で温かいご支援を頂き衷心より感謝申し上げます。優しく住みよい町づくりを願う「小さな事から一歩ずつ」行っていきたいと思っております。今後とも皆様のご指導・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



松本 晋児 議員

◆議席番号：6番
◆常任委員会：
総務産業建設委員会
議会運営委員会

私は漁師です。今も漁に出ています。おもに伊勢海老・アオリイカ等を取っています。しかし、ここ数年、あじ・さば・イワシが少なくなっています。今年こそは大漁と願っています。みんなにも美味しい地魚を食べてもらいたいと思っています。



江本 昇 議員

◆議席番号：3番
◆常任委員会：
文教厚生委員会
議会運営委員会

美波町議会議員

美波町議員として5年目を迎えます。これからも議会は行政のチェック機関であることなど議員の役割を再認識し、ご意見やご要望を行政に反映、政策提案するなど、みなさまからの負託に応えられる、また信頼される議員になるように努力したいと思います。



向山 篤宏 議員

- ◆議席番号：10番
- ◆常任委員会：
総務産業建設委員会
議会運営委員会

私は、議員・理事者共に背広に革靴スタイルでは、この町のきびしい状況は変えられないと思いますので、
一、ふだん着で現場をよく調べる
一、先進事例の調査研究をすすめる
一、施策のスピード化を図る
一、テレビ中継で開かれた議会を目指す
以上、最善の努力を致します。



永本善次郎 議員

- ◆議席番号：7番
- ◆常任委員会：
総務産業建設委員会

町民の皆様の声が町政に届くよう、一意専心で頑張る覚悟です。今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



丸龍 孝敏 議員

- ◆議席番号：11番
- ◆常任委員会：
総務産業建設委員会
議会運営委員会

合併後の議員選挙で初当選をいただき、現在3期め。
女性の視点と、若者らしい情熱と行動力で、ぬくもりのある町づくりに取り組みます。
さまざまなツールを活用し、情報をどんどん発信し、いろいろなスタイルの勉強会・話し合う場を作っていきます。
4年間、どうぞよろしくお願い致します。



寺下 博子 議員

- ◆議席番号：8番
- ◆常任委員会：
文教厚生委員会
議会運営委員会

生活環境の悪化、地場産業・地域経済の縮小、などをもたらしたのは、これまでの政権による大企業中心、アメリカ言いなりの悪政によるものです。この悪政の押し付けに反対し、対案を示して、皆さんの願いを実現するために皆さんと力を合わせ運動を進めます。



中川 尚毅 議員

- ◆議席番号：12番
- ◆常任委員会：
文教厚生委員会

町民の要望を反映しない議会、変えない、変わらない議会は見捨てられる。分かる議会、見える町政を築くためにテレビでの議会・町政中継化をまず実施し、住民からの情報も載せて町の活性化につなげていきたい。日和佐の診療所も利用しやすいところに安心してかかる医療体制にしていくべきであります。信頼して託される議会を築いていきたい。



戒野 博 議員

- ◆議席番号：9番
- ◆常任委員会：
文教厚生委員会
議会運営委員会

コンピューター 160 台 (1,360 万円税抜) で購入

第 1 回臨時会の概要

平成 26 年第 1 回臨時会は、2 月 4 日に開催。

影治町長より備品購入議案（小型動力ポンプ積載車・パーソナルコンピューター・情報系サーバ）3 件の提案があり、審議の結果原案どおり可決した。

- ◆ 議案第 1 号
物品購入契約（小型動力ポンプ積載車）の締結
● 質問
7 月 22 日に入札を執行しているにもかかわらず、議会上程しなかった理由は。
● 山路副町長
本来、直近の議会に提案すべき事案を私の方で十分な確認を怠ったのが原因で現在の提案になった。今後十分注意し二度と起こらないようにしたい。
- ◆ 議案第 2 号
備品購入契約（パーソナルコンピューター）の締結
● 質問
今後も 5 年・7 年の短期間で買い替える可能性はあるのか。
● 磯野総務企画課長
メーカーと保守 7 年の約束をしているので、その時点の状況により購入か更新かを考える。
- ◆ 議案第 3 号
備品購入契約（情報系サーバ）の締結
● 質問
入札結果は。
● プロポーザル方式で、4 社を指名したが 3 社辞退により、1 社のみの提案を受け入れた。
● 質問
3 社が辞退し 1 社の金額では、正当な分が足りないのでないか。
● 価格については、定価ベースというところがあり、それから交渉の上決めた金額とした。

◆ 各議員の賛否（議案採決結果） ◆

議長…◎ 賛成…○ 反対…× 欠席…欠

議 案	議 員 名												結 果		
	中川 尚毅	江本 昇	影山 美雄	川尻 竹藏	永本善次郎	丸龍 孝敏	北山 朝彦	向山 篤宏	岩瀬 公	◎坂口 進	寺下 博子	新開 悦博		舩田 邦人	松本 晋児
第 1 号 物品購入契約（消防ポンプ車）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	可 決
第 2 号 物品購入契約（パソコン）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	可 決
第 3 号 物品購入契約（サーバ）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	可 決

※議長は賛否の意思表示をすることが出来ません。採決の結果、可否同数となった場合は議長が採決権を行使します。（過半数議決の場合）

議員 12 人、こころ新たに再出発!

第 2 回臨時会の概要

平成 26 年第 2 回臨時会は、5 月 20 日に開催。

改選後、最初の議会で正副議長と常任・特別委員会構成を決定し、議会推薦の農業委員に女性枠で 2 人を推薦した。

影治町長より提案された、専決処分報告（9 件）と監査委員の選任に承認及び同意した。選挙管理委員及び同補充員選挙については指名推薦により当選人を決定した。

◆ 各議員の賛否（議案採決結果） ◆

議長…◎ 賛成…○ 反対…× 欠席…欠

議 案	議 員 名												結 果
	舩田 邦人	◎岩瀬 公	江本 昇	北山 朝彦	川尻 竹藏	松本 晋児	永本善次郎	寺下 博子	戎野 博	向山 篤宏	丸龍 孝敏	中川 尚毅	
第 36 号 専決処分報告（9 件）	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
第 37 号 監査委員の選任	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意

※議長は賛否の意思表示をすることが出来ません。採決の結果、可否同数となった場合は議長が採決権を行使します。（過半数議決の場合）

美波町議会へひと言

奥河内櫛ヶ谷 田 仁 理

牟岐町の議員定数は8人。美波町（7、676人）の議員定数12人だが、松茂町（1万5、560人）と同じ議員定数です。これの良いのか？

地域や団体等の代表議員が多いほど民意は反映される。しかし、私は定数削減が議員報酬の見直し（日当制）をすべきと思っている。先日議員自らの襟を正すための条例『議員政治倫理条例』の変更を求める請願を審議する議会運営委員会を傍聴し、その審議たるや、これが民意を代弁する議員かと我が耳を疑いたくなる様な内容で、委員長の審議

運営の不備、委員は住民に分かりよい条文にと言う気構えも無く、最終、住民の審査請求権は担保されたが、署名数も決まらず気概が全く感じられなかった。そこで、これからの町議会に望むことは、町民に見える政治（議会のテレビ中継化）をやってもらいたい。それが実現するまでの間、町民に情報を提供し、審議の過程が見える環境を作ってもらい、そして、住民の負託を受けた議員が民意に沿った活動が出来るよう『議会基本条例』の制定等更なる議会改革を切望します。

議会広報についてのご意見を下さい！

私たち議会広報委員は、「手に取り・見て・読んでもらえる議会広報」「住民から必要とされる議会広報」になるよう編集委員会で常に話し合っています。そこで、今回多くの住民から意見を聞かせていただくということで、私たちが出張し意見交換会を開催したいと思いますのでよろしくお願いします。

皆さん、意見交換会に参加して下さい！

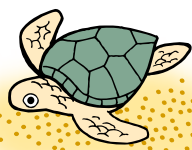
- ①各種団体で8人以上。住民グループで8人以上。
- ②日時・開催場所については相談して決定します。

住民の皆さんのご応募をお願いします！

- ①掲載写真（表紙等の写真）・撮影場所
 - ②「議会への一言」・「傍聴者の声」等を400字以内。
 - ③住所・氏名は掲載します。
- ※掲載についての判断は、議会広報特別委員会で行います。

お問い合わせ・投稿される方は、議会事務局 ☎ 77 - 3630
E-mail : gikai@town.minami.lg.jp までご連絡下さい。





頑張る人!!

地域の魅力を掘り起こせ



明日の農業を夢見て
竹川 裕充 (新規就農者・西河内)

冬季は菜の花、夏季は現在茄子を栽培しています。

より良質な野菜を育てることでブランド化につなげることを目標とし、野菜のブランド化や農業体験事業を行うことで美波町の活性化につなげて行きたいです。

編集後記

私が議会だより編集に携わって4年になりました。委員一同がみなさまに手に取ってもらえる、読んでもらえる広報を目指しましたが、多くの情報を掲載すれば読みにくく、写真やイラストを入れると内容が希薄になるなど、編集の難しさが身にしみた4年間でした。議会や行政の情報を分かりやすく発信し町民のみなさまに親しまれる広報誌となるよう、新しい委員に期待したいと思います。
(前委員：向山 篤宏)

● 議会広報特別委員会 ● (お問い合わせ・ご意見は TEL：77-3630へ)
委員長：北山 朝彦 副委員長：永本善次郎 委員：戎野 博・中川 尚毅